



発行者
いわき市平字桜町5
福島県立磐城桜が丘高等学校
同窓会
会長 井戸川保子
題字
江川文字(高校49回)
印刷所
八幡印刷株式会社



桜丘会報第二十四号

発行によせて

同窓会長 井戸川 保子

同窓会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本会活動に格別のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、歴史と伝統を誇る母校は、令和六年度に創立

令和七年四月、本校三十七代校長として着任しました。百二十年にも及ぶ歴史と伝統を誇る本校に着任し、その重責を感じております。

同窓会の皆様には日頃よりご支援いただき、感謝申し上げます。年度初めの総会では百名を超える同窓生の皆さんに圧倒されてしまい、挨拶がおぼつかなく失礼しました。着任してから私は何度も記念誌や桜丘タイムスを読ませていただきました。中でも、皆様方の心の支えである桜丘

百二十年を迎え、これを寿ぐ様々な事業が実施されました。記念事業は、同窓会が主体となり、PTAと共に実行委員会を立ち上げ、令和五年度から足掛け二年にわたり検討を重ねて練り上げました。莫大な経費は、同窓会とPT

会館は桜色の品あるたまたまいで昔と変わリません。しかしながら現在、老朽化のため立入禁止となつてしまいました。残念なことです。私は昨

年秋頃、初めて入館する機会がありました。階段は褐色の光沢を放っており、大切に使用していた歴史を感じました。記念誌にあった「礼儀正しさと、



過去〜現在〜未来

学校長 渡邊 亮

規程ある行動が求められていた。」という文章の意味が実感できました。また、今年度は第四十六回桜丘祭が盛大に開催され、入

場者は三千名を超えました。本校の存在意義や注目度の高さには驚かされました。しかし、時は流れ、数年前には募集定員を割る事態が起きまし

Aがそれぞれ半分ずつ負担しましたが、同窓会では、維持会費を記念事業準備金として積み立てておりましたので、改めて会員の皆様からの寄付を募ることができました。これもひとえに、卒業時に一度限りの会費納入だけでは支えきれない同窓会活動に、維持会費というシステムを編み出してくださった先輩諸氏の知恵に感謝するとともに、趣旨にご賛同いただき、ご芳志をお寄せくださる皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。(決算報告については七ページ参照)

去る令和六年十月十二日(土)、いわきアリオスを会場に実施された記念式典では、混声合唱の校歌に感動し、後輩たちの式典を支える仕事ぶりに、伝統が脈々と引き継がれている嬉しさを感じました。そして、更に印象的だったものは、記念式典に続いて実施された記念講演でした。講師は高校49回卒で、現在中央大学理工学部教授としてご活躍の新妻実保子さん。タイトルは、「限界の向こう側…インタラクティブ(対話)で拓く未来」。ご自身の研究にかける情熱や常に行く先を見据えた生き方を、ストレート

た。域内の中学生徒数の激減には歯止めがかりません。対応策として『教育コース』を設定し、今年三年目になりました。これは教員や教育に携わる人材の育成を目的とするもので、数十年後のいわき地区の未来を担う人材を本校から輩出する狙いです。中学生にも「教員になるなら桜が丘」が浸透し始めています。乞うご期待ください。

今後とも同窓会の皆様方には、引き続き母校へのご支援をお願い申し上げます。

な言葉で伝えていただきました。そのエネルギーは、在校生の力となり、未来への推進力となっていくことを確信させるものでした。新妻さんには、そのご縁もあり、この会報の「同窓生だより」に寄稿していただきましたので、ご覧ください。昨年度はもう一つ、同窓会として十年に一度の大事業、会員名簿の発行がありました。発行に際しましては、快く個人情報確認への協力、ご購入、ご寄付などを賜り、ありがとうございます。巻頭ページの刷新により、二十年の生徒たちの様子もご覧いただけたかと思えます。最後に、今回本会報編集委員としてご協力くださいました高校23回・33回卒の有志の方々に感謝申し上げます。



支部・方部だより

仙台 嬉しい再開

支部長 古市 敏子 (高校17回)

昨年コロナ以来五年振りに支部総会を開催致しました。年々参加者が減少し、案内状も不要の方が多数となり、今後の支部のあり方についての話し合いを行いました。

その結果嬉しい事に若い方が役員を引き受けてくださり、存続の運びとなりました。今年度は令和七年六月十二日(木)に「びわね」にて十七名の出席で開催致しました。



当日体調をくずして残念ながら欠席をする方がいらっ

しゃる一方、久しぶりに参加してくださった方や初参加の方もいらっしやり嬉しい限りです。新役員の挨拶の後懇親会へと移り、楽しい一時を過ぎました。校歌斉唱の後来年の再会を約束して散会致しました。

東京 会のさらなる進化に向けて

支部長 市村 経子 (高校20回)

ご卒業おめでとうございませす。どうぞ自分を信じ、何事にも自らの心と体で進んでいって下さい。

首都圏在住卒業生の集まりで評議員制を持って運営、毎春総会を開いています(二〇二五年五月六日(火)第六十七回上野精養軒一〇二名)。卒業同期数名の評議員が、連絡・動向の把握等、そして仲間の交流・親睦を深めてくれます。評議員のご尽力、ご苦労に負うところが。感謝し

ています。大先輩が作って下さったこのシステムを大切に引継ぎ、ITやデジタルを導入、少しずつ流れを変化させています。数年後ご連絡頂いたとき進化している会をご覧頂けたら無上の喜びです。会員にとって大切な会であり続けられるよう努めて参ります。



東海 東海支部活動報告

支部長 日比野久美子 (高校28回)

東海支部の活動は、主に桜丘会だよりの発行と総会の開催です。令和六年度の桜丘会だより(四十四報)では、支部長として参加した総会の報告をしました。六月に開催した総会では、親睦旅行再開への希望があったことから、十月に掛川への親睦旅行も実施

しました。令和七年度も桜丘会だより(四十五報)の発行、六月に総会の開催、十月に近江八幡への親睦旅行を実施いたしました。

最後になりましたが、初代東海支部長を務められた土谷カエ様(高校4回)が令和六年一月にご逝去されました。ここに謹んでご報告させていただきます。



四倉 総会開催について

方部会長 猪狩 由美 (高校20回)

令和七年六月八日(日)、令和七年度第十九回定期総会が大浦公民館に於て、会員三十名の出席で開催されました。物故者への黙祷、会長挨拶



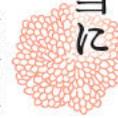
後議事に入り、定例の議案がすべて承認され、新役員も選任されました。

総会終了後、会員が奏でるウクレレ、オカリナ樹音の演奏が行われ、会場は、和やかな雰囲気になりました。懇親会では、お弁当と抹茶一服、主菓子が振舞われ、会話が弾みました。

前回は、コロナ感染症流行で、制約を求められた総会となりましたが、今回はゆっくり

り楽しんでいただけたいと思います。次回も工夫を重ねていきますので、お誘い合わせの上参加していただき、会員相互の親睦を厚くしていきたいと考えています。これからも母校の発展と地域文化に貢献できるように尽力してまいります。

小名浜 総会担当になる



方部会長 新妻 彰子 (高校19回)

小名浜方部は発足以来、昭和・平成・令和と四十年の歳月を経て現在に至っております。総会は三年に一度で、令和八年秋には第十四回総会を予定しております。また十二年ぶりに桜丘会総会の担当となりました。会場は鹿島の「パレスいわや」に決定しております。桜が丘高校の箏曲部の出演も予定しておりますので、多くの皆様の参加を願っております。

また小名浜方部の総会の準備もすすめてまいりたいと思っております。若い(?) 役員の皆様がんばってくださいているのが、とても心強くうれしく思います。

平方部会 秋の研修旅行記



方部会副会長

津田 里子 (高校15回)

平方部会毎年恒例の秋の研修旅行。「今年は人が集まるかな。」という不安を裏切り、毎年この旅を心待ちにしている会員を中心に、総勢三十六名で出発進行!

まずは壮麗な牛久大仏へ。入口の無明の間で心を無にして胎内へ。厳かな空間に自然と手を合わせる気持ち湧き出て、美しい庭園の散策の後には不思議と満ち足りた気分になりました。

成田山新勝寺では、大本堂や社殿の壮大さに「さすがは」と納得。市川団十郎などが信仰するお寺だけに、そこはかとない華やきを感じられ、やはり天下に名を馳せる成田山だと感じ入りました。

旅の最後は「千葉県立房総のむら」へ。多くの映画やドラマの撮影に使われる江戸期の町並が再現されています。当時の趣をそのままに再現され



た多くの商家の様子からは、どこからか、蔦屋重三郎が現れてきそうな...時代劇ファンには一見の価値あります! この旅は12回卒から36回卒まで様々な年代の会員が参加し、一日喋って食べて笑って動いて新発見もあり元気度アップのそれはそれは楽しい旅です。 帰途は、平方部会員の高田農園丹精の品(新米、野菜など)をくじ引きで競い合い、新米が当たった喜びと外れた悔しさが車内に渦巻き、明日への活力を皆に与えてくれます。 ああ、今から来年の旅が待ち遠しい!



昨年、創立百二十周年記念事業を盛会のうちに終えることができました。これもひとえに、同窓会、PTA、そして地域の皆様からの温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

創立120周年記念事業を終えて

二 浩方 新 教頭

式典で校長が述べた「伝統とは形を受け継ぐことではなく、その精神を受け継ぐことである」という言葉の通り、私たちはその精神を胸に、新たな一歩を踏み出しています。本年度も二百四十名の新入生を迎え、桜が丘の学び舎で新たな歴史が紡がれています。六月に開催された桜丘祭では、三千人を超える来場者で賑わい、生徒たちの生き生きとした姿が輝きました。

また、本校の特色である「教育コース」は、今年で三年目を迎え、一年生から三年生まで合わせて百二十四名が選択しています。福島県教育委員会や

わき市教育委員会、県内国公立大学等のご協力のもと、将来、教育分野で活躍する人材の育成に力を入れています。部活動も盛んで、箏曲部、写真部、放送局が全国高等学校総合文化祭に出場したほか、陸上競技部が全国高校総体への出場を決めるなど、生徒たちは様々な分野で素晴らしい活躍を見せています。 昨年度の記念講演で新妻実保子博士が語られた「心おどることをしよう」「自分の強み、適性を見つけ、得意分野を活かすこと」といったメッセージは、生徒たちの心に深く刻まれ、日々の活動の原動力となっています。 私たちはこれから、対話と協働を通して生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、地域社会に貢献できる人材の育成に尽力してまいります。今後とも本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓生だより

喜寿のお祝い会

坂本 洋子 (高校19回)

令和七年十月五日(日)、グランパークホテルパネックスいわきにて出席者六十名で開催致しました。

花みずきと桜の木を同期会を開催することに学校の校庭に植えて来ました。

開催のお知らせは二年前から同窓会ホームページにも載せていただき、今回は楽しく歌いおしゃべりをしようと集まりました。



役立ち、生徒さんから解り易いと褒められると益々技術の向上に力が入りました。

今や高齢者中心のダンス界

ですが、皆とても意欲的です。

私も体力の続く限り、生徒

さん達と楽しい時を過ごしたい

と思います。

福島復興を願う 創作物人形展

伊原 軌子 (高校25回)

二〇〇九年に三十年余り勤務したさいたま市の中学校を早期退職したあと、創作物人形製作を独学で開始しました。人形本体、着物ぬい、全て自作。

二〇一一年に発生した東日本大震災で大きな被害に遭った古里・福島復興をテーマに、個展でチャリティーを行い、これまで七回ほど義援金を地元新聞社等を通じて送り続けています。

私のこれまでの活動内容は、毎日新聞、東京新聞、福島民報等で報道されています。又、「伊原軌子(いはらのりこ)」で検索すればパソコンやスマホ等でご覧になれます。なお、二〇二六年三月二十

五日から二十九日まで、大宮レイボック(さいたま市)にて第十三回個展を開催する予定です。



秋の思い出

藤田 絹江 (高校36回)

今のグラウンドは野球場が併設されていて綺麗に整備されています。女子校時代の校庭は、今とは比べものにならないくらい狭かったのですが、趣きがあつて私のお気に入りでした。

高校時代、クラスの掃除場所が校庭。イチョウ並木が見事でした。秋は一面の落ち葉と銀杏で、掃き掃除が大変です。ある日、「銀杏って美味しいよね」と、誰からともなく銀杏拾いが始まり、集めた袋はベランダへ。銀杏入りの袋が日々運び込まれ、教室は異様な臭いが数日間漂いました。しかし、授業に来られる

先生から注意された記憶はなくて、おらかな時代だったなあと改めて感じます。

その後、クラスメートが振

る舞ってくれた銀杏御飯を皆

で美味しくいただいた、高校

時代の秋の思い出です。

知識不要! 誰でも、誰とでも 楽しめる 対話型絵画鑑賞

新妻実保子 (高校49回)

美術館で一つの作品にかかる平均時間はわずか十七秒といわれます。そんな中で「対話型絵画鑑賞」では、一枚の絵の前に複数人が三十分かけて意見を交わし、自分では気づかなかつた視点に出会いながら、絵画を堪能できる贅沢な時間を体験できます。知識に頼らず、感じたことを言葉にするだけでよく、観察力や思考力、言語化力を自然に養えるのも魅力です。

私は理工学部で学生と共に教育・研究に取り組んでおり、コーチ資格を持つ同級生が研究に役立つプログラムを実施してくださいました。対話鑑賞を通じて、多彩な見方があ

ると実感するとともに、普段の会話では気づきにくいこだわりも自然に表れ、相互理解がより一層進みます。同窓生とのつながりや対話を通して広がる気づきや学びを大切にしていけたらと思います。



二十余年の じゃんがら念仏踊り

草野 大輔 (高校58回)

私は高校一年生から今までの二十余年、生まれ育った小川地区の保存会に所属し、じゃんがらをしています。

今年のお盆も一日だけです、保存会の一員として市内の新盆ご家庭を回りました。毎年暑さが厳しくなっている中、年齢を重ねていくと疲

れも年々大きく感じますが、涙を流しながら私たちのじゃんがらを観ていらつしやる新盆ご家庭の姿を見ると、じゃんがらをやっている良かたと感じます。

しかし、年々団体数や成り手は減少し、また、時代の変化もあり、じゃんがらに対する市民の捉え方も変わってきていると感じます。数百年にわたり、先人達が繋いできた伝統を継承していくため、時代に合わせた持続可能な形を仲間達と模索しつつ、可能な限り活動を続けていきたいと思えます。



2026年度 総会のお知らせ

とき 2026年4月29日(水・祝) 10:00~14:30

ところ パレスいわや

問い合わせ ☎ (井戸川保子)

〈毎年4月29日に総会を開催しております。ご参加をお待ちしております。〉

お願い

同窓生の住所の変更、お亡くなりになった方の情報を、同窓会までお電話またはホームページ問合せ欄にてお知らせ下さい。

桜丘会ホームページを開設してあります

URL <https://www.iwakisakuragaoka.jp>

パソコンでも

スマホでも

タブレットでも

スマートフォン画面

同窓会情報発信中です

インターネットに接続

パソコン画面





部活動等で全国大会に出場したものを紹介します。

令和六年度

放送局

第七十一回NHK杯全国高校放送コンテスト

朗読部門

根本 彩奈 (二年)

吹奏楽部

第二十四回東日本学校吹奏楽大会



第24回東日本学校吹奏楽大会

高等学校部門

銀賞

剣道部

令和六年度全国高等学校総合体育大会剣道大会

女子個人

根本 藍 (三年)

第七十八回国民スポーツ大会剣道競技

少年女子 (福島県代表)

根本 藍 (三年)

作山 実希 (三年)

水泳部

令和六年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

女子五〇m 自由形

鈴木 彩友 (三年)

文芸部

第三十九回全国高等学校文芸コンクール

文芸部誌部門

『関ヶ井第七十九号』

奨励賞

美術・工芸部

第四十八回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

中田 琴 (二年)

令和七年度

放送局

第七十二回NHK杯全国高校放送コンテスト

朗読部門

永山 万結 (二年)



第72回NHK杯全国高校放送コンテスト

第四十八回全国高等学校総合文化祭 放送部門

朗読部門

根本 彩奈 (三年)



第48回全国高等学校総合文化祭 放送部門

陸上競技部

秩父宮賜杯第七十八回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

女子三段跳
猪狩 小夏 (三年)

吹奏楽部

第二十五回東日本学校吹奏楽大会

高等学校部門

銀賞



第25回東日本学校吹奏楽大会

テニス部

ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権二〇二五

U16女子ダブルス

石田 佳奈 (一年)

根本梨々華 (二年 相馬高校)



全日本ジュニアテニス選手権2025

文芸部

第四十回全国高等学校文芸コンクール

文芸部誌部門

『関ヶ井第八十号』

奨励賞

美術・工芸部

第四十九回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

中田 琴 (三年)

箏曲部

第四十回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門

演奏曲「虹色の風」

二、三年 (十六名) 出場



第40回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門

個人出場

第十九回地歴甲子園 (全国高校生歴史フォーラム)

大瀨 絢慎 (二年)

佳作

//// //// 主要大学の合格者一覧 //// ////

主な大学合格者数 (現役生のみ)

卒業年度 (令和)		06	05	卒業年度 (令和)		06	05
国立大学	北見工業大学		1	東北学院大学	12	10	
	弘前大学		2	東北福祉大学	6	9	
	秋田大学		1	宮城学院女子大学	3	1	
	岩手大学			東北工業大学	1		
	宮城教育大学			医療創生大学(旧いわき明星)	15	12	
	山形大学	農学部	2	東日本国際大学	2	1	
	福島大学	行政政策学類	4		茨城キリスト教大学	11	14
		経済経営学類	2		国際医療福祉大学	4	9
		人間発達文化学類	11	2	自治医科大学	1	
		共生システム学類	1		白鷗大学	14	10
		食農学類		1	女子栄養大学	1	3
		人文社会科学部	6	2	獨協大学	5	2
	茨城大学	教育学部	1	2	文教大学	10	2
		理学部	1		秀明大学	1	3
		工学部	3	1	千葉商科大学	1	1
		地域未来共創学環		1	神田外語大学	1	4
	筑波大学			千葉工業大学	13	2	
	宇都宮大学		3	4	青山学院大学	1	
	千葉大学		2		大妻女子大学	2	
	埼玉大学			2	学習院大学		1
	東京学芸大学		1		北里大学	2	7
	東京外国語大学			1	共立女子大学		2
	東京農工大学		1		国士館大学	1	6
	横浜国立大学			1	駒澤大学	4	4
	新潟大学		1	3	実践女子大学	2	2
上越教育大学		1		昭和女子大学		1	
山梨大学			1	成蹊大学	3	2	
静岡大学		1		名城大学	1		
大阪教育大学		1		専修大学	9	12	
釧路公立大学		1		大東文化大学	10	11	
青森公立大学		3		拓殖大学	7	2	
岩手県立大学		2		中央大学	6	6	
宮城大学		2	3	帝京大学	6	6	
秋田県立大学		1	1	東海大学	18	24	
山形県立米沢栄養大学			1	東京家政大学	3	4	
福島県立医科大学	看護学部	1	2	東京工科大学	5	4	
	保健科学部	7	9	東京経済大学	2	2	
会津大学		3	1	東京電機大学	1		
茨城県立医療大学		1		東京農業大学	1	2	
埼玉県立大学			1	東洋大学	19	13	
東京都立大学			1	日本大学	12	13	
横浜市立大学			1	日本体育大学		3	
群馬県立女子大学			2	法政大学	7	3	
群馬県民健康科学大学		2		明治大学	1	2	
高崎経済大学		1	1	立教大学	1	1	
新潟県立大学			3	早稲田大学		1	
新潟県立看護大学		1		神奈川大学	27	10	
長岡造形大学			1	新潟医療福祉大学	2	4	
都留文科大学		2	1	その他の私立大学	125	146	
山梨県立大学		1		私立大学合計	379	371	
長野県立大学			2				
静岡県立大学			1				
鳥取大学			1				
国公立大学合計		75	60				

進路状況

令和五年度

福島県立医大、茨城大、岩手大、宇都宮大、新潟大、宮城大と本校生に人気のある国立大学に安定して合格者を輩出できました。地方の国立大学を目指す生徒がいる一

方、首都圏国立大学への受験が増加しています。私立大学では、指定校推薦の志望者数が少なかったため、難関私立大の合格者が減少しました。しかし、一般入試で早稲田大学一名、学習院大学一名、法政大学二名(のべ)が合格することができました。

令和六年度

国立大学の合格者は、過去十年と比較して最多である七十五名が合格しました。今年度の特徴として、学校推薦型および総合型入試では前年と同数ですが、一般試験の前年度を大きく上回る四十六名が合格したことが挙げられます。

私立大学は、総合型選抜への出願者数が安定してきており、一つの入試方法として定着してきたと考えられます。一般入試の合格難易度は定員厳格化以前の水準に戻りつつあります。



創立120周年記念事業収支決算報告

収入

同窓会支出金	5,522,136
P T A 支出金	5,130,536
諸収入	82,823

計 10,735,495

支出

総務(記念品、新聞広告ほか)	2,530,584
式典費用、記念講演会	1,011,308
記念事業(学校設備等整備)	4,682,913
記念誌発行	2,510,690

計 10,735,495

同窓会会員の皆様の日頃よりのご支援に御礼申し上げます。



ゴルフ同好会「さくらの会」ご案内

こんにちは！発足35年の長い歴史を持つゴルフが大好きな同窓生の会です。

アットホームな雰囲気の中、年齢や経験に関わらず、メンバーが集まり和気あいあいと活動しています。

笑いの絶えない楽しい会です。

活動内容について

- ①多様なゴルフ場：市内の様々なゴルフ場でプレーを楽しんでいます。
- ②活動頻度：年に4回程度、コンペを開催しています。
- ③参加資格：ゴルフが好きな方、「これから始めたいな？」という方も大歓迎です。

ご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。 連絡先：高校34回卒 白岩 雅代

112回総会報告

平方部
鈴木ミチ子（高校17回）

令和六年度桜丘会総会は、生涯学習プラザにおいて、一三四名の会員の出席で開催されました。



各号提出議案は全て承認されました。懇親会はワシントンホテル椿山荘にて行われました。渡邊学校長先生の祝辞は学校の様子などお話しされ、続いて、新任の先生、東京支部長、東海支部長、仙台は新旧支部長、校内校外理事の紹介がありました。来賓代表として恩師 渡部勢津子先生よりご挨拶をいただきました。その後、ピアノ、アコーディオンの生伴奏で情緒溢れる校歌斉唱となりました。五年ぶりの懇親会、コロナ禍の影響で人と人の閉ざされたコミュニケーションを取り戻すには楽しい参加型アトラクションをと考え、新宿「歌声喫茶ともしび」で活動し

ている四名をゲストに迎えました。

リクエスト曲を皆で一緒に歌いました。歌の力で年代を越えた同窓生同志、心と心が通い合う楽しい時間を過ごしました。余興の平方部会員の青春時代の曲に合わせたダンスには参加者も飛び入りし大いに盛り上がりました。ラストは会場いっぱい大きな輪になり手をつなぎ、「また会う日まで」を歌い盛況裡に終了となりました。

113回総会報告

校外理事
遠藤 直美（高校32回）



令和七年度桜丘会総会は、グランパークホテルパネックスいわきにおいて、一四名の会員の出席で開催されました。

令和六年度の会務報告及び各会計報告と監査報告が承認された後、役員改選が行われ、井戸川会長の下、新メンバーを加えた体制でスタートが切られました。その後、令和七年度の行事計画案、予算案が示され、可決承認されました。

続いて行われた懇親会では、渡邊亮校長先生、来賓の方々からご挨拶をいただきました。そして、陳昌鉉氏製作のバイオリンを石井有子さん

新役員紹介

役員

会長 井戸川保子（高校25回）

副会長 金成三起子（高校25回）

加藤 昌子（高校26回）

猪狩いづみ（高校31回）

佐藤 啓子（高校30回）

會田 幸江（高校44回）

鈴木みどり（高校28回）

高沢 浩子（高校29回）

校内理事

理事長 石井 慶子（高校42回）

理事 高木 美枝（高校29回）

藤田 絹江（高校36回）

塩井 綾枝（高校38回）

會田 幸江（高校44回）

伊藤沙緒里（高校53回）

校外理事

猪狩 由美（高校20回）

新妻 彰子（高校19回）

鈴木ミチ子（高校17回）

酒井真知子（高校21回）

福田 浩子（高校31回）

遠藤 直美（高校32回）

が演奏し、その柔らかな音色に会員皆魅了されました。尽きることのないお話に花を咲かせ、賑やかかつ和やかに会を閉じました。

編集後記

季節は巡り、別れと出会いの季節がやってきました。社会情勢が刻々と変化するなか、同窓会報の役割もまた問い直されています。たとえ時代が変わろうとも、同じ学び舎で過ごしたという事実は、私たちにとって揺るぎない心の拠り所です。本誌が、卒業生同士を繋ぐ一助となれば幸いです。今後とも皆様からの温かいご寄稿と、率直なご意見をお待ちしております。

編集委員

委員長 吉田 謠生（高校33回）

委員 榎田美保子（高校23回）

志賀 美恵（高校23回）

猪狩いづみ（高校31回）

遠藤 直美（高校32回）

佐々木 一枝（高校33回）

志賀 ふみ（高校33回）

校内理事

